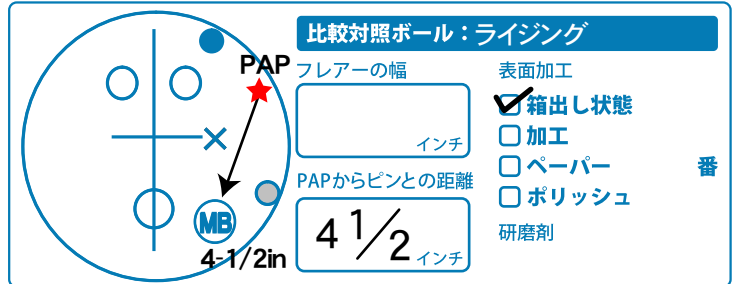
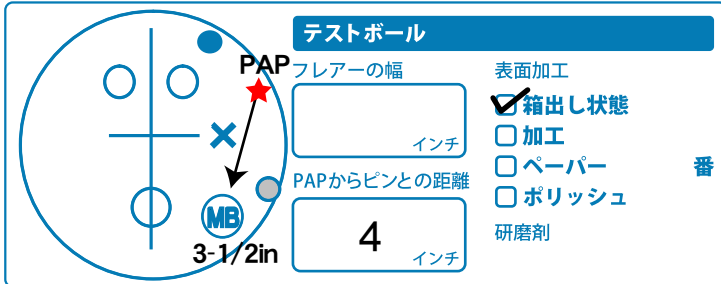


ボールの特性レポート

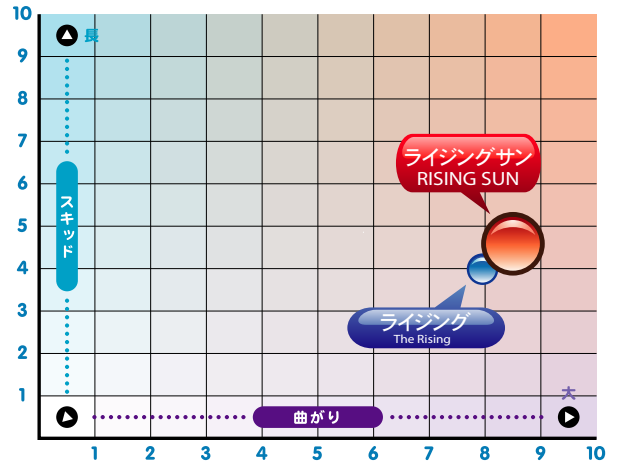
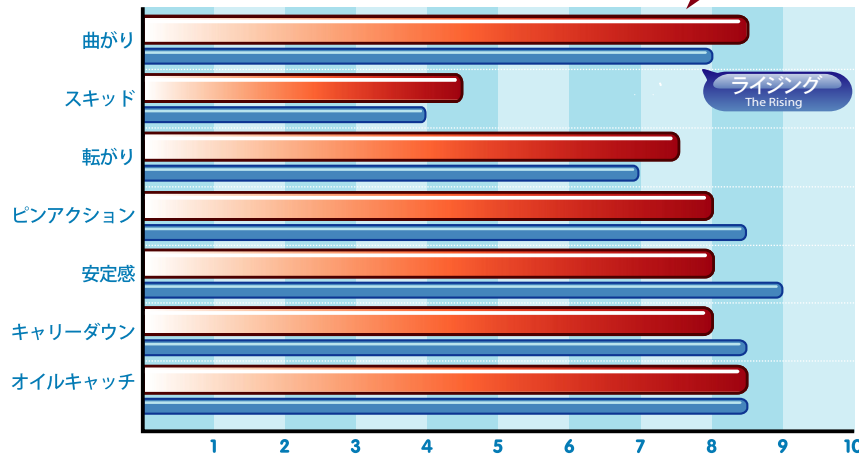
BALL REPORT



ボール名 ライジングサン	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボール
RG 2.500	△RG 0.055	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

ジャパンオープンでの山本プロ・関根プロダブル優勝から始まり、DHC3戦では宮城鈴菜選手、女子新人戦の五十嵐久乃プロと、前作ライジングのそのポテンシャルは、優勝決定戦でそのボールを選択すべく総合的信頼性があり、尚且つ結果も残してきました。

今回のライジング・サンは、オイル上でのキャッチ力はそのま前に前作よりもバックエンドを強化し、板目を多く取り投球できる性能に仕上がりました。

ライジングとの比較投球では、手前からの転がりの良さとキャッチ力は前作を上回り、フッキングポイントは同じぐらいですが、向きを変えてからの鋭く切れ込むバックエンドリアクションはライジングと比べると後継機とは考えがつかない程の反応の良さを感じます。バックエンドで切れ込むイメージが強い為、オイルを長く使い板目を多く取り、出し戻すラインの選択も可能で、ミディアムヘビー以上のコンディションでも十分なリアクションを得られるでしょう。7ポンド以上もある超ヘビー級「Mega Tronコア」の非常に強いモーションポテンシャルは、そのエネルギーをバックエンドリアクションに反映出来ているのと同時に、オイルに対しての強さも同時に兼ね備えているのもこのライジング・サンの完成度は高いレベルにあります。「再び日のあたる場所へ！」

ライジング・サンはリーグや大会、プロトーナメントにおいても新たな伝説を作るべくここに発売されます。

特記事項

オイルに対しての強さと鋭く切れ込むバックエンドリアクションが特徴的。
先で動くオイル系のボールをお探しの方は是非お試しください。